

令和3年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

<b>事業名</b>	高校生の地域留学の推進のための高校魅力化支援事業			<b>担当部局庁</b>	政策統括官(経済財政分析担当)	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成30年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	地方創生推進室	参事官 中野 理美			
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>				<b>関係する計画、通知等</b>	「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」(令和2年7月17日閣議決定) 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020改訂版)(令和2年12月21日閣議決定)				
<b>主要政策・施策</b>	地方創生			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	地方圏と東京圏の大学の単位互換をはじめとした連携により、大学生が地方圏と東京圏を相互に対流する取組に加え、高校生の段階で地方の魅力を確認する取組を進めることは、将来的なUターン・U留の促進や関係人口の増大という観点での効果が期待される。このため、地方公共団体等の協力も得つつ、地方と東京圏の大学が連携し、東京圏の学生に地方の魅力を確認できるプログラムなどを実施する取組及び地方公共団体が高等学校等と連携し、魅力的な高等学校づくりにより、高校生の地域留学を推進するための取組を支援する。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	①大学生の対流の促進:地方圏と東京圏の大学において、地方公共団体や産業界の協力を得て、地域産業の魅力発信のためのプロジェクトや、東京圏の学生が地方の魅力を確認できる交流プログラムなどを盛り込んだ計画を策定し、当該計画のうち効果が期待されるものを補助金により支援する。 ②高校生の地域留学の促進:地方公共団体が高等学校等と連携し、魅力的な高等学校づくりにより、高校生の地域留学を推進するための取組のうち、高校魅力化のためのモデルとなる取組を、補助金により支援する。また、地域留学を円滑に進めるための仕組みづくりを行うとともに、各地の高校魅力化の取組を横展開し、更なる取組の促進を図るため、イベント等を実施する。								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算の状況	当初予算	330	196	170	158	162		
		補正予算	0	0	0	0			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0			
		予備費等	0	0	0	0			
	計		330	196	170	158	162		
	執行額		116	121	97				
執行率(%)		35%	62%	57%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		35%	62%	57%					
<b>令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	地方創生支援事業費補助金	117	121	新たな成長推進:22					
	地方創生支援委託費	37	37						
	諸謝金	2	2						
	職員旅費	1	1						
	委員等旅費	1	1						
	計	158	162						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	地方圏への企業等への就職を前向きに考えるようになった者の数の増加	プログラムへの参加者のうち地方圏への企業等への就職を前向きに考えるようになった者の数	成果実績	人	79	436	0	-	0
			目標値	人	134	621	74	-	74
			達成度	%	59	70.2	0	-	0
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	補助対象の大学において、調査したデータを内閣府において集計								
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 6 年度
	全ての採択高校において、学校評価で「学校が魅力的だと思う」と回答した割合の増加した採択高校数が、採択高校全体に占める割合	学校評価において「学校が魅力的だと思う」と回答した割合の増加した採択高校数が、採択高校全体に占める割合	成果実績	%	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	100	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	採択した高校において、計数したデータを内閣府において集計								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 6 年度	
全ての採択高校における 定員充足率の向上	定員充足率が向上した採 択高校数が、採択高校全 体に占める割合	成果実績	%	-	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	100	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	採択した高校において、計数したデータを内閣府において集計								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 6 年度	
採択高校が受け入れた地域 留学生全員が採択地域 に「また来たい」と答える	採択高校が受け入れた地域 留学生のうち、採択地域 に「また来たい」と答えた生 徒の割合	成果実績	%	-	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	100	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	採択した高校において、計数したデータを内閣府において集計								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 6 年度	
地域留学に関心を持つ人 数の増加	地域留学促進イベントに参 加する人数の初年度参加 人数に対する割合	成果実績	%	-	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	125	150
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	委託先の調査により集計								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
地域間の大学におけるプログラムへの参加者	活動実績	人	592	1,241	0	-	-		
		当初見込み	人	192	460	106	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
プログラムに参加した地方圏の大学の学生のうち、対流 プログラムの存在が当該大学の進学につながった割合 ※平成30年度途中から本事業を実施しているため、令 和元年度プログラム参加者を対象に実績を調査	活動実績	%	-	60.6	0	-	-		
		当初見込み	%	-	60	60	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
地域間の大学におけるプログラム実施件数	活動実績	件	14	19	0	-	-		
		当初見込み	件	14	19	5	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業 採択件数	活動実績	件	-	-	11	-	-		
		当初見込み	件	-	-	9	12	16	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
地域留学促進イベントの開催回数	活動実績	回	-	-	5	-	-		
		当初見込み	回	-	-	3	5	5	
単位当たり コスト	算出根拠	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込			
事業費/地域間の大学におけるプログラムの実施数	単位当たり コスト	百万円	23.5	10.3	-	-	-		
		計算式	百万円/ 件	330/14	196/19	22/0	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込			
事業費/地域間の大学におけるプログラムへの参加者	単位当たり コスト	百万円	0.6	0.2	-	-	-		
		計算式	百万円/ 件	330/592	196/1,241	22/0	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込			
採択地方公共団体に対する補助金額/採択高校数	単位当たり コスト	百万円	-	-	5	7	-		
		計算式	百万円/校	-	-	56/12	99/15	-	

単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込
	採択地方公共団体に対する補助金額／採択高校における地域留学生受入人数		単位当たりコスト	百万円	-	-	-
(採択校においては、当初採択年度の翌年度以降に留学生の受け入れを開始するため、右欄については、当該年度に留学生の受け入れを行う採択校に係る実績を記載)		計算式	百万円/人	-	-	-	85/23

  

単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込
	地域留学促進イベントに要する経費／地域留学促進イベントに参加する人数		単位当たりコスト	千円	-	-	49
		計算式	千円/人	-	-	33,581/691	33,686/4,000

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	5. 地方創生
	施策	5. 地方創生に関する施策の推進

**事業所管部局による点検・改善**

項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国の重要施策である地方創生の推進において、地方への新しいひとの流れをつくる一環としての施策であり、社会のニーズを的確に反映したものである。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国の重要施策である地方創生の推進において、地方への新しいひとの流れをつくる一環としての施策であり、国費をもって優先的に実施すべき事業である。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	大学生の地域間の対流は、東京圏の大学の学生にとって教育上の効果だけでなく学生に地方の魅力を認識してもらうなどの効果が期待されることや、地方大学の学生にとっても（東京圏で学ぶ機会があることは）地方大学に進学する誘因となり、また、併せて高校生の段階で地方の魅力を認識する取組を進めることは、将来的なUJターン促進や関係人口の増大など、地方への人材還流や人材定着に寄与するものである。従って、本事業は地方創生の実現に向けて必要かつ適切な事業であり、優先度は高い。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	高校生の地域留学に係る事業では、委託事業における事業者の選定に当たっては、一般競争入札（総合評価方式または最低価格方式）を実施することで、競争性を確保し広く公募を行ったが、地域留学推進のための情報発信等に係る業務委託については、1者応募であった。
一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	なお、大学生の地域間の対流に係る事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、申請を予定していた大学に対して補助金交付の要件としていた東京圏の学生に地域産業の魅力を発信するプログラム等の参加者数の確保ができなかったことから、補助金を支出していない。
競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
受益者との負担関係は妥当であるか。	○	高校の魅力化に係る補助事業では、公募のうえ、外部委員による公平な審査を経て申請事業を選定しており、自己負担を考慮したうえで、補助金を交付している。
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	高校の魅力化に係る補助事業では、書面審査において事業経費の用途内容を確認している他、外部委員による審査を行ったうえで採択を決定しており、交付内容の妥当性も含め確認をし、補助金を交付している。
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助金を交付する際には、必要に応じて事業経費の費目・用途の内容を事前に確認することで、資金の流れや合理性を確認している。
費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	高校の魅力化に係る補助事業では、補助金を交付する際には、必要に応じて事業経費の費目・用途の内容を事前に確認することで、資金の流れや合理性を把握するとともに、事業目的に即した真に必要な経費の交付に限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	○	高校生の地域留学に係る事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、やむを得ず、当初対面で予定していた広報イベントについてオンライン開催としたことや、外部委員による現地視察を取りやめとしたことなどにより、不用が生じている。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	高校の魅力化に係る補助事業では、補助金を交付する際には、コスト削減や効率化等の観点から経費の妥当性等について確認をしている他、外部委員による審査を通じて事業の妥当性等を審査している。

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域留学促進に係る広報イベントはオンラインでの開催が余儀なくされたものの、当初想定を上回る回数開催できた他、高校の魅力化に係る補助事業では当初想定を上回る件数の採択となった。一方、同影響により、大学生の地域間の対流に係る事業はプログラム等の参加者の確保ができなかったことから、△(一部できている)評価とした。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	作成した地域留学に係るパンフレット等の広報物は広報イベント等で活用された他、ガイドラインは地域留學生の送り出し校及び受入校間の調整等で活用された。
事業連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度から開始した高校の魅力化を通じた地域留学推進に係る事業においては、地方公共団体による高等学校の魅力化に関する取組みについて、外部委員によるヒアリング審査等を通じて、計画内容、推進体制、コスト等の観点から妥当性を判断し補助先を決定しており、事業の効果的及び効率的な実施に必要な手続きを踏んでいる。なお、令和2年度は11件(12校)採択したところ。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、本事業においても計画の変更を余儀なくされた部分はあったものの、当初想定回数を上回るオンラインによる広報イベントの開催や、地域留学を円滑に進めるためのガイドラインの作成・公表・活用などを実現した。</li> <li>他方、高校の魅力化に係る補助事業先として令和2年度に採択された学校における留學生の受入れは令和3年度から始まるため、現時点で本事業の成果が把握できない部分もあり、成果実績の把握、事業の効率性や有効性に関する検証については、令和3年度事業を終えてから行う予定である。</li> </ul>	
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校の魅力化に係る補助事業においては、補助期間(5年間)以降の自走性を考慮し、補助期間中に申請自治体と道県教委との連携強化体制の構築などに係る取組も並行して行うことで、事業の自走性を高める取組を行っていく。</li> <li>なお、実績等も踏まえ大学生の地域間の対流に係る事業については、令和2年度限りの予算とし、令和3年度事業においては高校の魅力化を通じた地域留学のみを推進することとしている。</li> </ul>	
<b>外部有識者の所見</b>			
点検対象外			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
通現り状	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確に検証するとともに、事業の進捗状況の把握に努めるべき。また、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
通現り状	引き続き、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確に検証しつつ、予算の効率的執行に努めてまいりたい。		
<b>備考</b>			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
平成22年度	-		
平成23年度	-		
平成24年度	-		
平成25年度	-		
平成26年度	-		
平成27年度	-		
平成28年度	-		
平成29年度	-		
平成30年度	内閣府(新30 0003)		
令和元年度	内閣府 - 0033		
令和2年度	内閣府 - 0032		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

高校生の地域留学の促進(令和2年度実績)

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

内閣府  
95百万円

地方公共団体が高等学校等と連携し、魅力的な高等学校づくりにより、高校生の地域留学を推進するための取組のうち、高校魅力化のためのモデルとなる取組に対する補助

地域留学を円滑に進めるための仕組みづくり、地域留学を促進するイベントの実施、高校魅力化支援に係る協力者会議の運営等を委託

【補助金等交付】

委託【一般競争契約】  
(総合評価・最低価格)

A. 都道府県・市町村  
(11機関)  
56百万円

B. 民間事業者  
(3者)  
39百万円

魅力的な高等学校づくりにより、高校生の地域留学を推進するための取組のうち、高校魅力化のためのモデルとなる取組の設計・実施 等

地域留学を円滑に進めるための仕組みづくり、地域留学を促進するイベントの実施、高校魅力化支援に係る協力者会議の運営 等

事務費  
2百万円

費目・使途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.三重県大台町			B.一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
地方創生支援事業費補助金	高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業	56	地方創生支援委託費	実践的な活動等を通じた高校生の地域留学の推進のための情報発信等業務	36
計		56	計		36

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三重県大台町	5000020244431	地方創生支援事業費補助金	7	補助金等交付	-	--	
2	北海道幌加内町	3000020014729	地方創生支援事業費補助金	7	補助金等交付	-	--	
3	山形県小国町	9000020064017	地方創生支援事業費補助金	7	補助金等交付	-	--	
4	島根県津和野町	7000020325015	地方創生支援事業費補助金	6	補助金等交付	-	--	
5	北海道 (北海道教育委員会)	7000020010006	地方創生支援事業費補助金	5	補助金等交付	-	--	
6	岩手県葛巻町	8000020033022	地方創生支援事業費補助金	5	補助金等交付	-	--	
7	石川県能登町	5000020174637	地方創生支援事業費補助金	5	補助金等交付	-	--	
8	島根県海士町	9000020325252	地方創生支援事業費補助金	4	補助金等交付	-	--	
9	島根県 (島根県教育委員会)	1000020320005	地方創生支援事業費補助金	4	補助金等交付	-	--	
10	島根県雲南市	1000020322091	地方創生支援事業費補助金	4	補助金等交付	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム	1280005007169	実践的な活動等を通じた高校生の地域留学の推進のための情報発信等業務	36	一般競争契約 (総合評価)	1	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない。
2	株式会社エモック・エンタープライズ	2010401005495	高校生の地域留学推進のための高校魅力化の支援に係る協力者会議の運営等委託業務	2	一般競争契約 (最低価格)	11	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない。
3	一般財団法人日本開発構想研究所	2010405000906	官邸サーバーへの移行に伴う更新業務	1	随意契約 (少額)	1	--	